

令和4年度 第2回地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会①  
議事要旨

日時：令和4年10月21日（金）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎8号館7階 ABCD会議室（716）

## 1. 議事

### （1）展開枠：地方公共団体Aの審議

- ・事務局より、書面評価の結果について説明があった。
- ・地方公共団体Aから事業説明があり、その後、委員による質疑応答が行われた。
- ・質疑応答の後、審議が行われた。委員から、以下のコメントがあった。
  - ・新たに学部を設置するなど、若手の人材育成にかなり力を入れている。
  - ・材料と加工技術で優位性を持っている。

### （2）展開枠：地方公共団体Bの審議

- ・事務局より、書面評価の結果について説明があった。
- ・地方公共団体Bから事業説明があり、その後、委員による質疑応答が行われた。
- ・質疑応答の後、審議が行われた。委員から、以下のコメントがあった。
  - ・採択当初は地元の大企業がけん引する計画だったが、今回の提案では当該企業の話が出てこなくなり、大学発ベンチャー企業の話になっている。技術的には重要なテーマだと認識しているが、地域の産業との関係を形成できていないのではないかと考える。
  - ・採択当初からビジネスの話が弱いと考えていたが、ようやく事業への展開性が認められると考える。
  - ・展開枠の是非を判断する前提として、これまでの振り返りを明確にする必要がある。
  - ・スタートアップに重きを置いた構想に転じる上で、専属の技術移転機関を持つことは、必要ではないかと考える。今回の展開枠で大きく進展することへ期待を込めたい。
  - ・産業・雇用について、地元の既存企業だけに依存せず、大学発ベンチャー企業の活用により、もう少し幅広い展開を考えているのであれば、国費支援も可能ではないかと考える。

以上の議論を踏まえ、地方公共団体Aは採択と評価した。地方公共団体Bについては判断を保留するとともに主査一任とし、同自治体への追加質問への回答を踏まえて判断することとした。

以上